

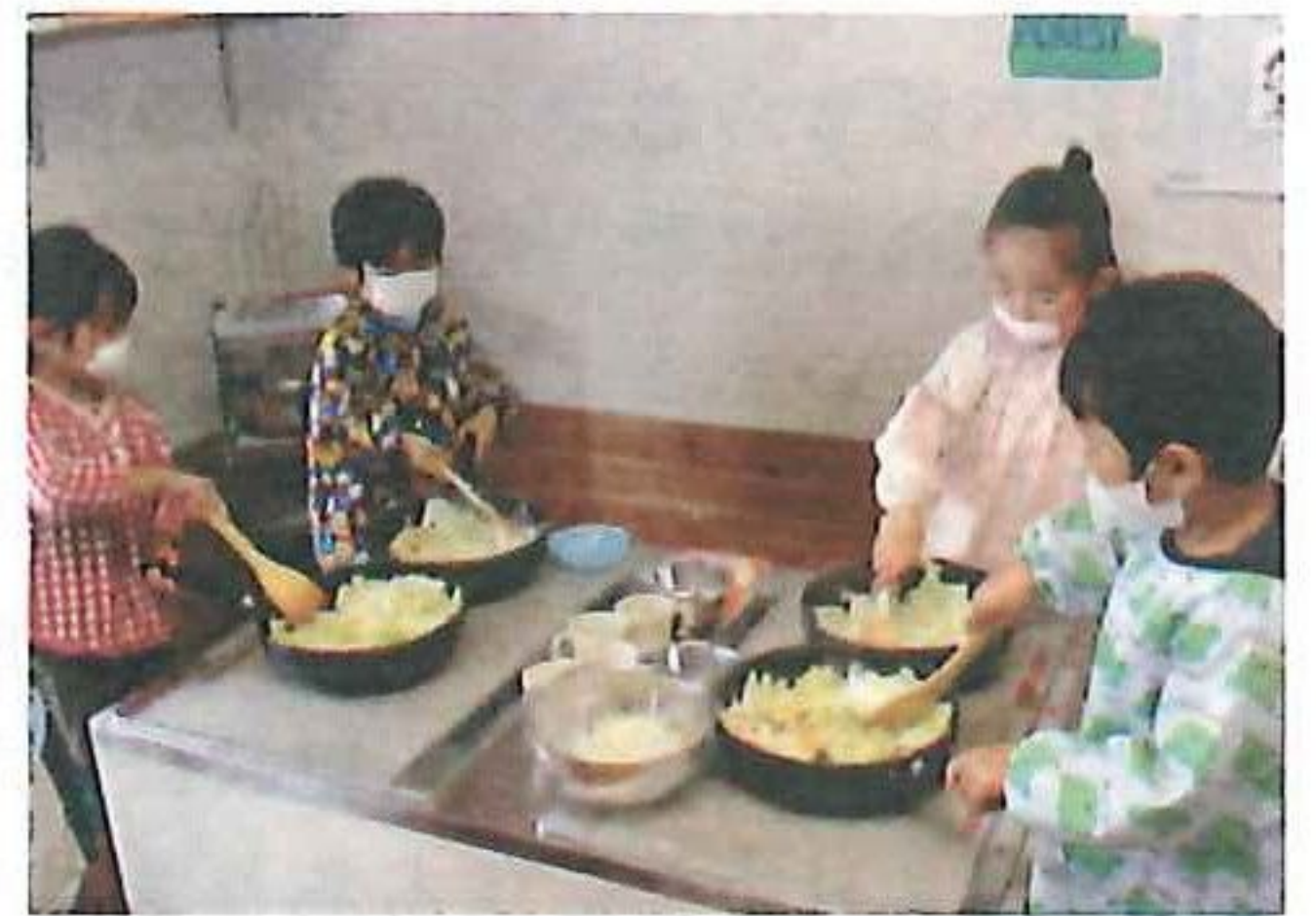
【特集】食育って何ですか？

よく食べて、よく遊び、よく育ちますように…

そんな願いを込めつつ、今月は食育特集です。

食育に取り組む幼稚園や保育園、畑で親子の活動を行っている団体、料理教室などに取材し、食に関する様々な情報をお届けします。

“食育って何？” 家族と子どもたちの食生活について、ちょっと考えてみるきっかけになれば嬉しいです。



食事の前は「何の命が入ってる？」。そして手を合わせて「いただきます」。いただいた命に感謝する日本文化も大切にしています。

バンビバイリンガル幼稚園

「食育って、食べることの大切さや楽しさを伝えることだと思います」と、川瀬園長。バンビバイリンガル幼稚園では週1回、縦割りで自分たちの給食を作る時間を設けています。調理室には外国人の先生と日本人の先生が2人ずつ。それぞれの母語で子どもたちと関わります。年少は洗う・ちぎる、年長は切る・炒める…。料理の工程は年齢に応じてかなりシステムチックに設定されています。年少児には、包丁やフライパンを使う年長児を憧れのまなざしで見ただけという時間も。我慢を覚えること、「大きくなったらあれをやりたい」と未来のイメージを育てることも狙いの一つです。

回数を重ねると、子どもたちは自然と料理も英語でのコミュニケーションも上手になっていきます。「けれど個別のスキルを上げることが目的ではないんです。料理には子どもたちのメリットになるもっとたくさんの要素があるから」。毎日の生活の中で大きなウエイトを持つ“食べること”を、非日常のイベントにせず、上からの押しつけにもせず、リアルに感じてもらいたいというのが園の考え方。そこにある楽しさもおいしさも危険も、できた食事を誰かに振る舞って「ありがとう」と感謝される実感も、子どもたちの育ちにとって大切なものになっているのです。



【バンビバイリンガル幼稚園】
南アルプス市徳永1605
TEL055-280-0500

